(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3143420号
(U3143420)
(45)発行日　平成20年7月24日(2008.7.24)　(24)登録日　平成20年7月2日(2008.7.2)

(51)Int.Cl.　　F I
E06B 9/386 (2006.01)　　E06B 9/386
E06B 9/384 (2006.01)　　E06B 9/384

評価書の請求 未請求　請求項の数 4　ＯＬ　（全 8 頁）

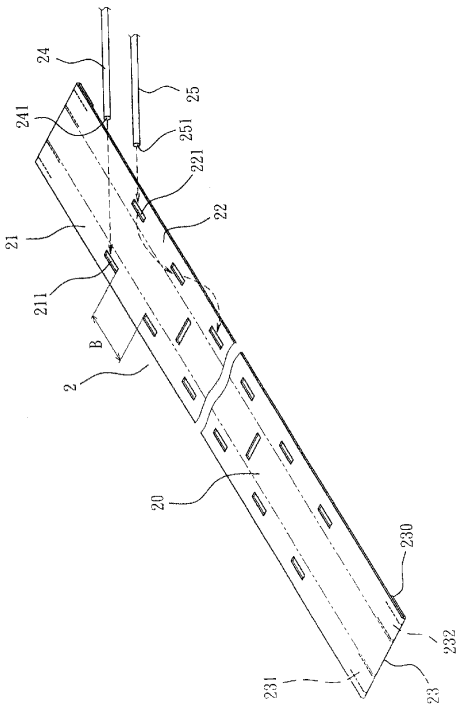
(21)出願番号　実願2008-2977(U2008-2977)
(22)出願日　平成20年5月9日(2008.5.9)

(73)実用新案権者　502382284
陳　阿南
台湾彰化縣鹿港鎮三民路１１５號
(74)代理人　100082304
弁理士　竹本　松司
(74)代理人　100088351
弁理士　杉山　秀雄
(74)代理人　100093425
弁理士　湯田　浩一
(74)代理人　100102495
弁理士　魚住　高博
(74)代理人　100112302
弁理士　手島　直彦
(74)代理人　100152124
弁理士　白石　光男

最終頁に続く

(54)【考案の名称】ブラインドのスラット構造

(57)【要約】　（修正有）
【課題】多様な組合せと変化に富んだ外形、色彩を具え、美観と商業的価値を高めることができるブラインドのスラット構造の提供。
【解決手段】軟質片体を組合せ堅固にサポート可能なブラインドのスラット構造で、ブラインドのスラットは少なくとも軟質片体２０と二サポート棒２４，２５を含む。該軟質片体の両辺側には第一穿引区２１と第二穿引区２２をそれぞれ具え、該第一穿引区と該第二穿引区は相互に平行に対応し、各間隔に予め設置する間隔距離の位置において、複数の穿引孔２１１を設置し、これにより該二サポート棒は該軟質片体の一端から反対端まで、該第一穿引区、第二穿引区の穿引孔まで、順番に上下穿引を行い、該軟質片体をサポートすることができる。該軟質片体の両端位置は、それぞれ端縁を折り返し棒端定位部を形成し、しかも該棒端定位部内には二定位カバー２３１，２３２を設置し、これにより該二サポート棒の末端は穿入定位される。
【選択図】図２



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも軟質片体と二サポート棒を含み、
該軟質片体の両辺側には縦方向の第一穿引区と第二穿引区をそれぞれ具え、該第一穿引区と該第二穿引区は相互に平行に対応し、各間隔に予め設置する間隔距離の位置において複数の穿引孔を設置し、該軟質片体の両端位置にはそれぞれ棒端定位部を形成し、
該サポート棒は細長い棒体で、その両末端は該軟質片体の棒端定位部にそれぞれ嵌設することを特徴とするブラインドのスラット構造。
【請求項２】
前記棒端定位部は二定位カバーを具えることを特徴とする請求項１に記載のブラインドのスラット構造。
【請求項３】
前記棒端定位部の外部には外カバー部品を嵌設し、前記外カバー部品は片側に開口を具え、内部に向かい設置空間を形成することを特徴とする請求項１に記載のブラインドのスラット構造。
【請求項４】
前記外カバー部品の設置空間内には二定位槽を具えることを特徴とする請求項３に記載のブラインドのスラット構造。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案はブラインドのスラット構造に関する。特に軟質片体を組合せ堅固にサポート可能なブラインドのスラット構造で、これによりブラインドのスラットは多様な組合せと変化に富んだ外形、色彩を具え、美観と商業的価値を高めることができるブラインドのスラット構造に係る。
【背景技術】
【０００２】
図１は軟質片体１０を具えるブラインドのスラット１を示す。それは主に該軟質片体１０の両側にそれぞれケースパイプ１１、１２を設置し、これにより二サポート棒１３、１４を穿入させ、こうして該軟質片体１０はブラインドのスラット１を構成する。このタイプの構造には特許文献１、特許文献２、特許文献３等がある。これら構造は各種軟質片体の設置を提供し、ブラインドのスラットを組成し、これにより一般的名硬式スラットが人に与える硬くて色彩変化に乏しい印象を改善することはできるが、美観の面で、該軟式片体の選択において、非常に大きな制限を受ける。その主な原因は該軟質片体１０の側辺において、必ずケースパイプ１１、１２を囲みミシンで縫製しなければならないことである。このため、加工が容易でない他に、その側辺の形状変化には限界がある。よって硬くて色彩変化に乏しいという欠陥を完全に克服することはできていない。
【０００３】
【特許文献１】米国特許第２，１８７，１２１号明細書
【特許文献２】米国特許第６，１０５，６５７号明細書
【特許文献３】米国特許第５，８２９，５０６号明細書
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
本考案が解決しようとする課題は、軟質片体を組合せ堅固にサポート可能なブラインドのスラット構造を提供し、これによりブラインドのスラットは多様な組合せと変化に富んだ外形、色彩を具え、美観と商業的価値を高めることができるブラインドのスラット構造を提供することである。
【０００５】
上記課題を解決するため、本考案は下記のブラインドのスラット構造を提供する。ブラ

インドのスラットは少なくとも軟質片体と二サポート棒を含み、
該軟質片体の両辺側には第一穿引区と第二穿引区をそれぞれ具え、該第一穿引区と該第二穿引区は相互に平行に対応し、各間隔に予め設置する間隔距離の位置において、複数の穿引孔を設置し、これにより該二サポート棒は該軟質片体の一端から反対端まで、該第一穿引区、第二穿引区の穿引孔まで、順番に上下穿引を行い、該軟質片体をサポートし、
該軟質片体の両端位置は、それぞれ端縁を折り返し棒端定位部を形成し、しかも該棒端定位部内には二定位カバーを設置し、これにより該二サポート棒の末端は穿入定位され、
上記部品の組成により、軟質片体により構成するブラインドのスラットを提供することができ、それは多様な組合せと変化に富んだ外形、色彩を具え、美観と商業的価値を高めることができる。

【０００６】

上記本考案の軟質片体は布、或いは皮革、プラスチック、針織布により製造する。

【０００７】

上記本考案のサポート棒は木質、或いは竹、金属材料、ガラス繊維、プラスチック材質により製造する。

【０００８】

上記本考案の棒端定位部の外部にはさらに外カバー部品を嵌設し、該外カバー部品は片側に開口を具え、内部には設置空間を形成し、棒端定位部をその内に設置し、これにより該棒端定位部を設置挟持することができる。

【課題を解決するための手段】

【０００９】

請求項１の考案は、少なくとも軟質片体と二サポート棒を含み、
該軟質片体の両辺側には縦方向の第一穿引区と第二穿引区をそれぞれ具え、該第一穿引区と該第二穿引区は相互に平行に対応し、各間隔に予め設置する間隔距離の位置において複数の穿引孔を設置し、該軟質片体の両端位置にはそれぞれ棒端定位部を形成し、
該サポート棒は細長い棒体で、その両末端は該軟質片体の棒端定位部にそれぞれ嵌設することを特徴とするブラインドのスラット構造としている。

請求項２の考案は、前記棒端定位部は二定位カバーを具えることを特徴とする請求項１に記載のブラインドのスラット構造としている。

請求項３の考案は、前記棒端定位部の外部には外カバー部品を嵌設し、前記外カバー部品は片側に開口を具え、内部に向かい設置空間を形成することを特徴とする請求項１に記載のブラインドのスラット構造としている。

請求項４の考案は、前記外カバー部品の設置空間内には二定位槽を具えることを特徴とする請求項３に記載のブラインドのスラット構造としている。

【考案の効果】

【００１０】

上記のように、本考案は各式軟式片体を組合せブラインドのスラットを組成することができ、これにより公知のブラインドのスラットの硬くて色彩変化に乏しいという欠陥を完全に克服することができ、実用的で進歩的である。

【考案を実施するための最良の形態】

【００１１】

本考案の立体分解図である図２に示すように、本考案のブラインドのスラット２は少なくとも軟質片体２０と二サポート棒２４、２５を含む。

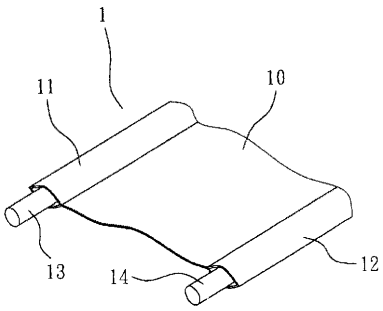
【００１２】

該軟質片体２０の両辺側には縦方向の第一穿引区２１と第二穿引区２２をそれぞれ具える。該第一穿引区２１と該第二穿引区２２は相互に平行に対応し、各間隔に予め設置する間隔距離Ｂ(必要に応じて間隔距離を設定することができる)の位置において、複数の穿引孔２１１、２２１を設置する。該軟質片体２０の両端位置は、それぞれ端縁２３０を折り返し、棒端定位部２３を形成する。しかも該棒端定位部２３内には開口を具える定位カバー２３１、２３２を設置する。

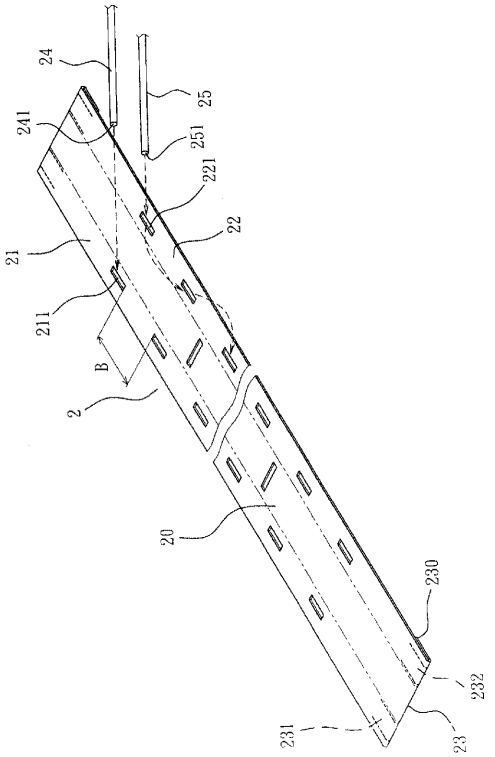
【００１３】
該サポート棒２４、２５は細長い棒体で、その両末端２４１、２５１は該軟質片体２０の二棒端定位部２３の定位カバー２３１、２３２にそれぞれ嵌設する。
【００１４】
上記部品の組成により(図３～図７参照)、先ず該二サポート棒２４、２５の末端２４１、２５１により、該軟質片体２０の一端から反対端まで、順番に該第一穿引区２１、第二穿引区２２の穿引孔２１１、２２１まで、上下対応の穿引を行う。並びに、その二末端２４１、２５１により該棒端定位部２３の定位カバー２３１、２３２にそれぞれ挿入(図３、８参照)し、サポート棒２４、２５の該軟質片体２０への挿入設置を完成し、こうしてブラインドのスラット２を組成する。側面から見ると、それは上下波浪状の外形を具え、複数のブラインドのスラット２により組み立てられるブラインドAを構成する(図９参照)。該ブラインドAは全体的な外観が変化に富み、美しく、公知のブラインドのスラットに存在する欠点を確実に解決することができる。
【００１５】
図１０、図１１に示すように、本考案第二実施例は該棒端定位部２３と該サポート棒２４、２５の固定の便のため、また同時に装飾効果を向上させるため、該棒端定位部２３の外部に外カバー部品３を嵌設する。該外カバー部品３は片側に開口３１を具え、内部に向かい設置空間３１０を形成する。該設置空間３１０内には二定位槽３１１、３１２を具え、これにより該棒端定位部２３と該サポート棒２４、２５の末端２４１、２５１を設置挟持することができる。
【００１６】
上記のように、本考案は各式軟式片体を組合せブラインドのスラットを組成することができ、これにより公知のブラインドのスラットの硬くて色彩変化に乏しいという欠陥を完全に克服することができ、実用的で進歩的である。
【図面の簡単な説明】
【００１７】
【図１】公知のブラインドスラットの局部立体図である。
【図２】本考案の立体分解図である。
【図３】本考案の局部立体図である。
【図４】本考案の平面図である。
【図５】本考案図４のI-I位置における断面図である。
【図６】本考案図４のII-II位置における断面図である。
【図７】本考案図４のIII-III位置における断面図である。
【図８】本考案の側面指示図である。
【図９】本考案の実施例図である。
【図１０】本考案第二実施例の局部立体分解図である。
【図１１】本考案第二実施例の断面図である。
【符号の説明】
【００１８】
１　ブラインドのスラット
１０　軟質片体
１１、１２　ケースパイプ
１３、１４　サポート棒
２　ブラインドのスラット
２０　軟質片体
２１　第一穿引区
２１１、２２１　穿引孔
２２　第二穿引区
２３０　端縁
２３１、２３２　定位カバー

２４、２５　サポート棒
２４１、２５１　末端
３　外カバー部品
３１　開口
３１０　設置空間
３１１、３１２　定位槽
Ａ　ブラインド
Ｂ　間隔距離

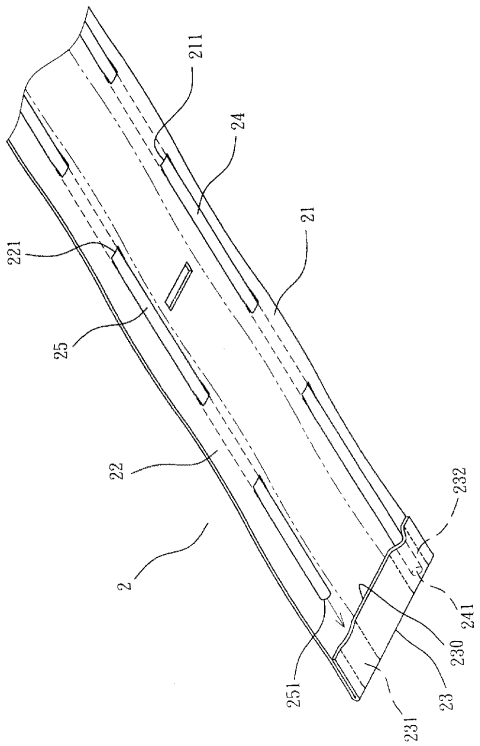
【図１】



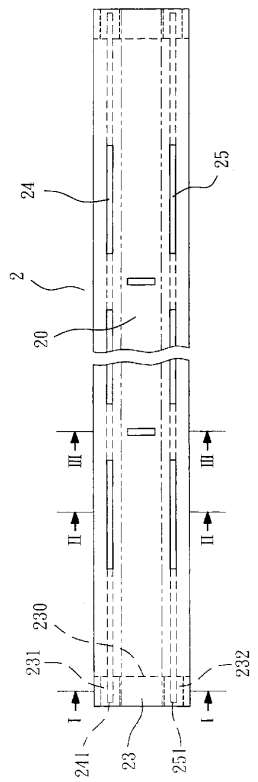
【図２】



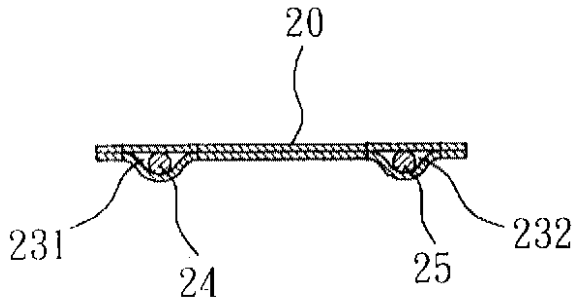
【図３】


211
24
21
221
25
22
2
232
241
230
251
23
231

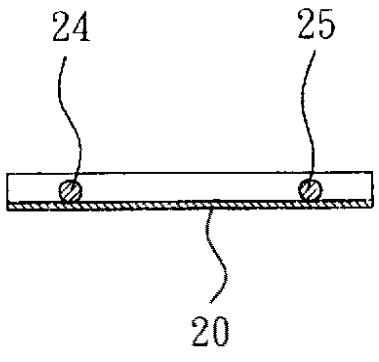
【図４】


24
25
2
20
III
II
I
230
231
232
241
23
251

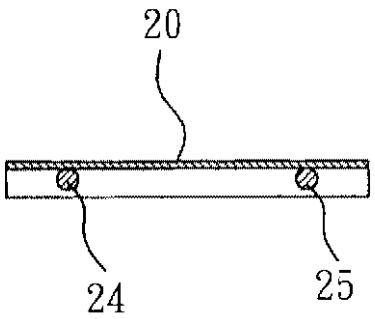
【図５】


20
231
24
25
232

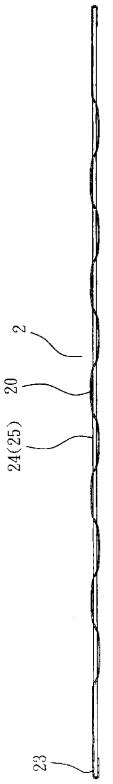
【図６】


24
25
20

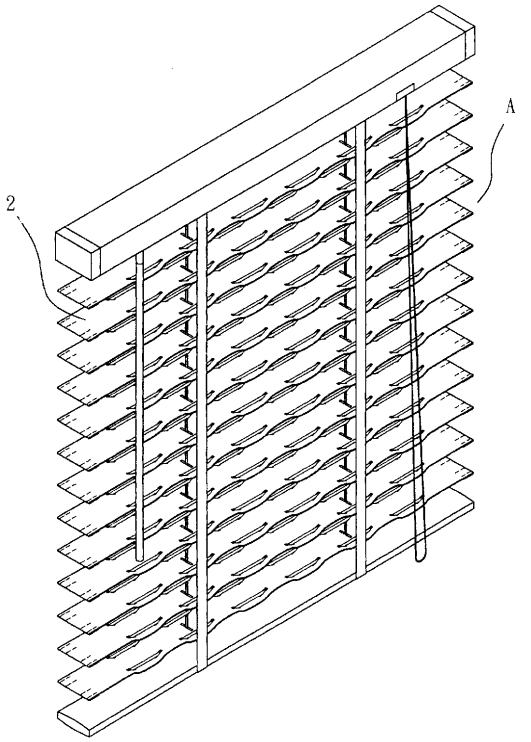
【図７】


20
24
25

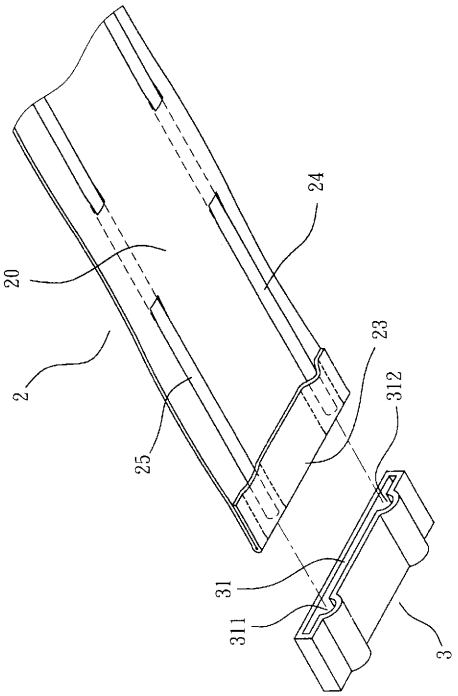
【図８】



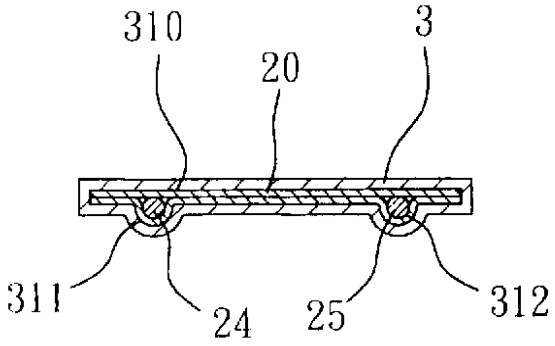
【図９】



【図１０】



【図１１】



フロントページの続き

(72)考案者　陳　阿南
台湾彰化縣鹿港鎮三民路１１５號